

参集殿

御岩神社 拝殿

拝殿演武エリア

備考

- ・演武は、合わせ居合
- ・演武形は各チームで決める
- ・拝殿と石畳の各チームは、開始時期を同調させなくてもよい
- ・最初の礼より最後の礼が終わるまで私語を慎むように。
- ・貴重品を入れる袋を用意する



演武開始時の立ち方向



真 胸尽し 水月
陽中陰 響返し 前腰
基本一、二



本腰 野送り
陰中陽



左月 神妙剣



右 右の敵



向抜 円要 夢想返し

- ・両車 玉光 破図味（オープニングは除く） 四方は、安全を鑑みて省きます。
- ・走り懸りは、走らずその場から始めます。二刀目は、斬る位置を調整できるよう稽古してください。
- ・拝殿に向かってお尻を向けないようにします。ただし円要や右の敵など形の途中で一瞬向くのは可とします。

進行

1. 13:30 アナウンス開始。
2. アナウンスの終了とともに、刀を両手で胸の高さに捧げる。『礼』の言葉と同時に、刀の高さを変えずに揃って礼を行う。
3. 礼の角度は45度で、刃は自分に向ける。オープニングの演武者を残し、他の者は全員左に退場する。オープニングの演武終了後、両エリアで演武を開始する。
4. 演武終了後、再び全員が整列し、揃って礼を行う。
5. 礼終了後、全員左に退場。

演武の際の入退場

- ・演武者は拝殿に向かって左側に待機。この時は帯刀している。
- ・本殿の入退場はどちらも拝殿に向かって左側。
- ・石畳の入場は拝殿に向かって左側。退場は右から出て、本殿裏を抜け参集殿前で待機。
- ・入場時、場に対して礼。
- ・演武者が揃った時点で拝殿に向かい揃って礼。
- ・各演武位置につき演武開始。演武終了後、一列となり揃って礼。退場。